

心豊かな「すてきさん」づくり ～ えがお・げんき・あいさつ～  
かながえ、やってみる子 いたわり、助け合う子 せいいっぱいがんばる子 いきいきと元気な子



年長の子どもたちが育てた  
ジャンボキュウリとミニトマト

## 開成町立開成幼稚園

# たいよう通信

第3号

発行日：令和7年6月27日（金）

発行者：園長 杉山 孝史

## 夏はやっぱり水遊び

6月10日に関東地方が梅雨入りしましたが、数日後から真夏を思わせる太陽が容赦なく照りつけています。このような中、幼稚園では6月9日から子どもたちが楽しみにしている水遊びが始まっています。たらいに水をためて物を浮かばせたり（写真）、石鹸水でシャボン玉遊びをしたり、水鉄砲で水を掛け合ったりなど、思い思いの遊びを子どもたちは楽しんでます。よく晴れた日には、園庭のあちらこちらから子どもたちのにぎやかな歓声が沸き起こっています。



さて、今年度の学年目標を決めました。4月から学年の子どもたちの様子をつぶさに観察し、良さや課題を盛り込んだ目標にしました。今後、この目標を基本に据えながら学年の充実を目指します。ご支援とご協力をお願いします。

### 令和7年度学年目標

#### <年少>

- 教師や友達に親しみを持ち安心して自分のしたい遊びに取り組む。
- 園生活の仕方を身につけ、身の回りのことを自分の力で進めようとする。

#### <年中>

- 様々な活動に興味を持って取り組み、友達や教師と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 遊びや生活を進めるために必要な態度や言葉を身につけ、自分にできることを行おうとする。

#### <年長>

- 友達と目的に向かって試行錯誤しながら思いや考えを出し合い、自分たちの力で実現していく充実感を味わう。
- 様々な人とのかかわりの中で、感謝の気持ちを持って自分にもできることを考えて取り組む。

## 原先生から歌の指導

南足柄ジュニア・コーラスを指導されているソプラノ歌手・原亜紀子先生をお招きし、歌の指導に関する研修会を開きました。動物の鳴き声をまねての声出し、歌詞から想像力を膨らませる導入など、多くのことを教えていただきました。「歌は未知数で限りなく学べるものがある。歌の世界を楽しんでほしい」熱く語られた先生の言葉が印象的でした。今後も歌声の溢れる園を目指してまいります。原先生ありがとうございました。



## 花いっぱいになあれ！ 年少

年少お弁当の日の6月6日（金）、年少の子どもたちと保護者の皆さんが、開成駅前の花壇「にじいろガーデン」に花の苗を植えました。この日用意された花は、マリーゴールドとペゴニアです。地元企業や町役場の方々にお手伝いいただきながら、一株ずつ親子で丁寧に植えていきました。

今回の活動を通して、子どもたちの心の中に街を大切に作る気持ちが芽生えたに違いありません。素敵な経験ができました。参加された皆さんのおかげで、駅前のロータリーが明るく輝いています。



## バスから安全に避難 年中



6月9日（月）、年中2クラスが緊急事態の発生したバスから安全に避難する訓練を行いました。幼稚園では登降園に限らず、たびたびバスに乗って園外に出かけています。幸いにも、これまで非常事態は発生していませんが、今後絶対にそのようなことが起こらないという保証はありません。この日の子どもたちは、「お・か・し・も」の約束を守って素早く安全な場所に避難できました。どの子どもみんな、避難上手なすてきさんでした。

外に出かけています。幸いにも、これまで非常事態は発生していませんが、今後絶対にそのようなことが起こらないという保証はありません。この日の子どもたちは、「お・か・し・も」の約束を守って素早く安全な場所に避難できました。どの子どもみんな、避難上手なすてきさんでした。

## 会場いっばいに歌声 年長

6月7日（土）から15日（日）までの9日間、開成町の一大イベント「あじさいまつり」が開催されました。晴れ間がのぞいた12日（木）午前、年長の子どもたちがメイン会場へ赴き、大勢のお客さんを前に自慢の歌声を披露しました。

初めは緊張していた子どもたちでしたが、最後の曲「虹の向こうに」では、のびのびとした歌声が会場いっばいに響き渡りました。お客さんから大きな拍手が子どもたちに送られました。一つのことをやり切った満足感をお土産に、子どもたちは意気揚々と会場を後にしました。年長の皆さん、すてきさんでしたよ。



## 幼稚園を応援します

今年度第1回めの学校運営協議会が5月29日(木)、開成幼稚園ゆうぎ室で開催されました。この協議会は年間3回の開催を予定しており、幼稚園や学校、保護者や地域の皆さんが連携して園や学校の運営、子どもたちの健全育成などについて意見交換をすることになります。

この日の会議では「今年度拡充した預かり保育に関すること」「3学期制と2学期制のメリット・デメリット」などについて話し合ってくださいました。委員の皆さまからいただいた良い点はさらに発展させ、課題については改善に向けて努力してまいります。委員の皆さまは一年間、幼稚園の応援団としての役割を担っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 令和7年度学校運営協議会委員(全8名)

- ・天野寿人さん(令和7年度PTA会長)
- ・露木智里さん(令和6年度PTA本部役員)
- ・石飛信彦さん(地域住民・学識経験者)
- ・石崎雅美さん(地域住民・学識経験者)
- ・石田景子さん(行政・町教育委員会職員)
- ・小林雅子(教頭) 鈴木悠子(園務主任)
- 杉山孝史(園長)

※委員の互選により協議会の会長に天野さん、副会長に石崎さんが就任されました

## 新スタッフが加わり教育力アップ

この春から、豊かな経験と専門知識を有する新しいメンバーが幼稚園のスタッフとして仲間入りしています。先生方の専門性とスキルが、園全体の教育力をさらに向上させています。

なお、馬場先生と藤井先生は保護者の方の教育相談に応じています。希望される方は、幼稚園・小林教頭までお申し出ください。

### 井上 義文 先生

井上先生は、以前に開成幼稚園長、また昨年の9月まで開成町教育長を務められました。新採用教員研修指導員として、初任の山元唯教諭の指導を担当していただきます。

### 馬場希代子 先生

馬場先生は、昨年度まで開成南小学校でことばの教室を担当されておりました。保護者が抱える子育てや就学に向けた悩み、言葉に関する相談などに応じていただきます。

### 藤井加奈子 先生

藤井先生は、公認心理師の免許をお持ちです。子どもの様子で気になることなどに関する保護者相談、教職員の支援に対するアドバイスなどを担当していただきます。



### 悪者ぞろいの家

▼私たちは、普段たくさんの人と関わって生活

しています。そのため、対人関係に苦労することもしばしばです。気の合う人もいれば、何となく苦手な人もいます。しかし、どのような状況にあっても、相手のことを敬い気遣う気持ちは必要です。▼昔あるところに一軒の農家がありました。その家族は仲が悪くて、いつもケンカばかりして暮らしていました。ある日、この家の主人が、村一番仲の良いと評判の家族を訪ねて行きました。「我が家は家族の者どうし仲が悪くて困っています。どうぞ、家族が仲良くなる方法を教えてください」とその家の主は答えました。「いやあ、そんな方法なんて別にないですよ」「そんなことはないですよ。意地悪しないで教えてくださいよ」とそんな会話をしていると、その娘さんがお茶を運んできました。「お客さま、粗茶ですがどうぞ」差し出したとたん、お茶がひっくり返ってしまいました。驚いた娘さんはすぐに、「すみません、失礼しました。お茶は掛からなかったですか」そう謝っていると、奥から母親が飛んできて、「うちの娘がとんだ粗相をしました。やけどはしませんでしたか。運はせたいのは私のせいです。申し訳ありません」とその家の主も、「いやいや娘に注意するよう言わなかった私のせいです。堪忍してください」と謝って、集まった家族全員で客に詫言いました。「お茶のことは構いませんが、仲良くする方法は…」とがっかりして帰ろうとする農家の主人にこの家の主が言いました。「たぶん、あなたのご家族は皆さん良い人なのでしょう。我が家は、ご覧のとおり皆が悪者になります。それが仲の良い秘訣かもしれません」家に帰った農家の主人は、家族全員を集めてこの話を聞かせて、それから家族の皆が悪者になるよう努力しました。おかげで、この家族も末永く仲良く暮らしたということです。▼哲学者の内田樹さんは、この著書の中で「弱い組織には非難の言葉があふれているが、強い組織には謝罪の言葉や感謝の言葉があふれている」と言っています。「こめんなさい」「ありがとう」「私に任せてください」―集団生活・社会生活を送るうえで大切にしたい心がけです。

